

# 平成29年度学校評価報告

貴重なご意見、ありがとうございました。様々なご意見をいただきました。厳しいご意見もいただいておりますが、それらすべてが太田小をよりよくしていくための貴重なご意見として受け止め、改善すべきところは改善し、よりよい太田小になるべく努力をしていく所存です。

平成32年度の学習指導要領の改訂に向けて、その趣旨を理解し、実践してまいります。

私たちは、まず、「確かな学力の定着」を目指し、児童一人一人の個性に配慮しつつ知育・徳育・体育をバランスよく育成していくことに努めてまいります。

ご多用のところご協力いただき、ありがとうございました。ご協力に感謝申し上げます。

## ☆ 本校の良い点や特色について ☆ （良い点○や改善点△）

- 学校運営協議会の活動により、学校・家庭・地域の信頼関係が築かれ、三者が一体となって児童をあたたく見守り、たくましく育てている。
  - 校長のスクールプランを元にして、学校行事や集会活動を通して自主性や創造性が育まれ、学校生活を楽しく充実したものにしている。
  - 道徳の授業や日々の活動の中で、豊かな心を育てる事により、職員と児童、児童相互の間により良い人間関係が築かれている。
  - 地域の皆様、保護者の皆様が様々なボランティアに参加していただいていることにより、教育活動がより一層充実している。
- 3-⑧△ 昨年度に比べて、改善されているが、児童の読書離れが進んでいる。朝の読書活動や図書室の充実、図書館の団体貸し出しの利用など本に親しむ活動の充実を図る。  
また、家庭にも読書の習慣を身につけさせるよう啓発活動を進める。
- 2-⑥△ 忘れ物をしないように家庭との連携をより一層図る。週報や各種便り、連絡帳の利用の充実をしていく。
- 4-⑪△ 食べ物の好き嫌いを無くしていくために、保健指導や給食指導を通して、食の大切さや健康増進を理解させるとともに、楽しい給食時間になるように工夫し、学年便りや保健便りなどで家庭に啓発し、家庭と学校で密に連携していく。
- 2-⑦△ 児童の学習意欲を高め、より一層の学力の定着のために、職員一同、より一層の研修に励む。また、指導要領の改訂に向け、計画、準備を着実に進める。

## ◇ まとめ ◇

上記の結果を生かし、教育活動の改善、推進に努めてまいります。

昨年度同様、多くの児童は教師や友だちとよい人間関係を築き、日々の授業や学校行事に参加する中で、楽しく充実した学校生活を送っている様子が見えてきました。その背景には、安全面、環境保全など学校生活全般にわたり、保護者や地域の皆様方から多くの御支援をいただいているおかげであることも分かりました。また、「太東学園」が発足し、3年目を迎えました。太東中学校、久喜東小学校とともに太東学園あいさつ運動や中学校の先生が指導に来てくださる兼務発令、夏休みのHOTフォーラム、中学生が本校に来て活動する3 DAYS、中学生の音楽発表など、たくさんの活動を行ってまいりました。

「太田小は、地域に支えられている学校」という言葉がたくさん出てきました。コミュニティースクールの推進と共に学校運営協議会のことも理解が深まり、運営協議会が主催する活動も充実してきました。ゆうゆうプラザもたくさんの児童が参加し、楽しく活動をしていました。地域、保護者の皆様、学校運営委員の皆様、ゆうゆう実施員・講師の皆様、ありがとうございました。今後も、より一層の御支援、ご協力をお願いいたします。

※以下の数値等を参照してください。

## H29 職員からの考察

### 【1年】

- ・児童と保護者で意識の差があった。（児童はできると思っているが、保護者は走でもない）
- ・家庭学習で児童は宿題をやっていると回答しているが、保護者は習慣が身についているとは感じていない。（声かけをしないとやらない。）
- ・学校では読む時間をとってはいるが、家庭では読まないようなので
  - ①ハートフルのような時間
  - ②読み聞かせ
  - ③図書館の利用推進など、家庭での読書環境作り。

### 【2年】

- ・楽しく通っていない児童5人
- ・立ち止まってあいさつができていない。
- ・児童は、忘れ物をしないようにしていると回答していたが、よく忘れ物をする子がいる。忘れ物に対しての意識が薄い。
- ・保護者は習慣が身についているとは感じていない。（声かけをしないとやらない。）
- ・楽しい授業を心がけ、子どもたちのやる気を引き出す。
- ・子どもは、仲のよい友達がいると思っているが、保護者は心配？
- ・相談しやすい環境作りが必要。
- ・子ども自身が評価するのが難しい。

### 【3年】

- ・中がよい子がいたり、学校行事が楽しみだったり、学校に楽しく通えている。
- ・読書量が少ない。
  - ①読書時間の確保
  - ②家庭学習で宿題に出す。（読書〇分 など）
  - ③本にふれあう時間の工夫
- ・友人関係のトラブルは、意識を高めたり、話し合ったり、指導したりする。（トラブル解決を元にして）
- ・子どもも保護者も楽しく学校生活を送っていると感じている。
- ・3度の食事をとっていない児童が2人いる。
  - ①保護者会などで、話題をあげて啓蒙する。
  - ②家庭でも運動する機械を意図的に増やしてもらう。

### 【4年】

- ・好き嫌いがあると答えた児童が多い。
  - ①家庭への啓蒙
- ・読書量が少ない。
  - ①読書カードを利用するなど、意欲付けをする。
- ・早寝早起きができない。
  - ①家庭への啓蒙
- ・いじめ、仲間はずれがある。（CD併せて20パーセント近く）
  - ①友達作りの仕方の指導
  - ②教師の強い気持ちを示す。
  - ③時、場を選ばない指導
- ・忘れ物は、保護者の意識と実態が重なる。

### 【5年】

- ・95パーセント以上の子が楽しく学校に通えている。（4人が通えていない）
  - ①今後ケアをしていく。

・学校のことはなしている古河少ない。

①コミュニケーションをとる力をつけていく。

・子どもは、仲間はずれ、いじめはないと答えているが、保護者の中ではそう思っていない人もいる。家で話す機会が少ない。

・早寝早起きができていない。

①家庭への啓蒙

## 【 6 年 】

・学校生活が充実している。

・自信を持って学習に取り組んでいる。

・仲良い友達がいる。…児童間がよい関係である。

・学校行事に楽しく参加している。

・家族に学校のことを話していない児童が10パーセント程度いる。

・あいさつ、好き嫌いは、児童も教員も意識を高めていく必要がある。

・忘れ物は「しない」Aが20パーセント。週報等で声かけをする。

・安心して通える学校である。

・地域に支えられている学校である。